

第32回 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆「駒が自分の利きがない場所
所に動くことがある作品」

を特集した今回の氾濫。お
かげさまで解答総数20通と、
前回より若干増加しました。

①ばか詰 89手「走馬燈」
神無三郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			飛	飛	銀	銀	銀		五
			金	金	香	歩	香	金	六
			銀	歩		曇	王	歩	七
			歩	手	香		手	手	八
			金	桂	手				九

持駒 角歩

28歩、同玉、19角、39玉、

28角、48玉、37角、39玉、

48角、28玉、39角、27玉、

29香、37玉、28角、27玉、

19角、28と、同香、37玉、

27香、同玉、28歩、37玉、

27歩、28香、同角、48玉、

39角、37玉、48角、同圭、

39香、38角、同香、同圭、

19角、28香、同角、48玉、

39角、47玉、49香、37玉、

48角、47玉、59角、48圭、

39桂、37玉、48角、28玉、

37角、39玉、48角、28玉、

39角、37玉、48角、47玉、

59桂、同圭、同角、48歩、

同香、37玉、47香、同玉、

48歩、37玉、47歩、48香、

同角、28玉、39角、37玉、

28角、47玉、59桂、同馬、

49香、48馬、同香、同玉、

39角、59玉、48角、68玉、

77角迄89手。

流し繰り返し趣向かと思いき

や少しずつ違う形で成桂を

ハガしての打開。これだけ

の舞台で完全に手順が限定

するのはさすが。

☆規則性と不規則性が混在す

る密室パズル。中心機構は

持駒変換×桂はがしです。

志賀友哉―後半も歩から香へ

変換しながらはがしたせい

で大幅超過して焦った。

☆手順の流れに乗って48手目

48歩合とすると8手余分に

掛かります。逆に3枚目の

成桂をはがした時には歩か

ら香への変換が必要。丁寧

な読みが要求されます。

☆三郎氏は作品に句を付ける

のが恒例ですが、今回は句

の予想(?)をした方もい

らっしゃいました。

小倉杏―生涯にまはり燈籠の

句一つ(素十)

☆では実際の句と作者の言葉

をどうぞ。

作者―もう一枚成桂がはがせ

るとよかったのですが、な

かなか限定が難しく、最期

は馬をはがしての収束にな

りました。左右での趣向で

なんとかまとまりました。

走馬燈何かも風の

やうに過ぐ (小林看空)

②キルケばか自殺詰8手

増田智彬

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角香

だけにその筋にとつぷり嵌
ってしまいました。79金の
存在が実に巧み。

☆本作の正解者はわずか3名。
つまりこれが解けた方が全
題正解者です。しかし作者
は当初こう仰っていました。

作者―(略) 紛れが少なく、
詰め上がりも予想しやすい
ですが、どうかよろしくお
ねがいします。

☆実は原図には受方65金の代
わりに攻方94桂があり、63
歩は受方という配置でした。

82龍の紛れが残るよう作者
が推敲を続けた結果が今回
の出題図で、作者の努力は
見事実を結んだと言えます。

小倉杏―収束は、同飛成/82

竜まで、飛車が盤上を飛び
回る作…と見せかけて(笑)、

この渋い手順。見事にひっ

かかりました。

☆詰上りが見えにくい原因は
手順の「渋さ」だけではあ
りません。詰上りを構成す
る駒2枚が復活によって生
じたものである点と、それ
が収束間際まで現れず最後
の連続復活で出現する点に
もあると思います。この作
品からは、作意だけでなく
紛れを含めた手順全体が詰
将棋の表現手段であること
を再認識させられます。

⑤Messigny ばか詰 23手

神無太郎

			王						

持駒 桂

27 桂、23 玉 / 15 玉、35 桂、

33 玉、23 桂成、34 玉、24 圭、

35 玉、25 圭、36 玉、同王 /

15 玉、16 玉、26 圭、17 玉、

同王 / 36 玉、37 玉、27 圭、

38 玉、同王 / 17 玉、18 玉、

28 圭、19 玉、29 圭迄 23 手。

(交換する手を / で表す)

【Messigny (メッシニ)】双方

の同種の駒は一手でその位
置を交換することができる。

増田智彬―玉と王のダンスを

彷彿とさせる軽やかな趣向。

うん、楽しい!

志賀友哉―上に追うか下に追

うかで散々悩んだ。趣向順

が現れるとは…

小倉杏―ルールの特性が明確

にあらわれる楽しい手順を

シンプルな形で表現するセ

ンスはさすがです。

☆一見玉を下段に落とすのが

自然に見えますが、それは

25 手掛かります。思い切っ

た発想の転換で入玉形を目

指すと、玉が互いにクルク

ルと入替わる趣向手順が出

現! 超簡素形で Messigny

の魅力を伝える完成品です。

⑥Messigny ばか詰 155 手

洞江元太

持駒 なし

16 王 / 14 玉、24 玉、

25 歩 / 27 歩、16 玉 / 24 玉、

17 歩 / 15 歩、26 玉、

同王 / 24 玉、14 玉、

15 歩 / 17 歩、26 玉 / 14 玉、

27 歩 / 25 歩、36 玉、

同王 / 14 玉、24 玉、

「25歩／27歩、36玉／24王、

37歩／35歩、26玉、

同王／24玉、34玉、

35歩／37歩、44玉、

45歩／47歩、26玉／44王、

27歩／25歩、36玉、

37歩／35歩、46玉、

同王／44玉、34玉、

35歩／37歩、46玉／34王、

47歩／45歩、56玉、

同王／34玉、44玉、

(以下)「内と同様に2筋

ずつ左辺に移動する。80手

目96王・84玉の形から)

85歩／87歩、96玉／84王、

97歩／94歩、86玉、同王

／84玉、93玉、92銀成、

86玉／93王、87歩／85歩、

76玉、同王／93玉、84玉、

(以下)「内の手順を左右

反転させた手順で右辺に移

動する。136手目36王・44玉

の形から) 45歩／47歩、

36玉／44王、37歩／35歩、

46玉、同王／44玉、34玉、

35歩／37歩、24玉、

25歩／27歩、13玉、

12全／92全、同金、14歩、

22玉、13歩成、同玉、31馬、

22銀、16飛迄155手。

☆ここに不思議な詰将棋があ

ります。左に行くには少し

右に行き、右に行くには少

し左に行かねばなりません。

正解者も首を傾げています。

須川卓二とにかくややこし

い。歩の交換と玉の交換を

使い一往復するのだが、前

に進んでいるのかどうか

分かりにくかった。155手に

するのが一苦勞でした。

☆この困惑の原因は異質の趣

向の組合せ。玉は「物」が

移動する《粒子》ですが、

歩は「状態」が移動する《波》

です。そのため、両者が複

合された趣向の構造を把握

するのが難しいのです。

増田智彬—22手サイクルの趣

向作ですが、とても複雑で

頭がこんがらがりました。

1サイクル毎に2筋ずれて

いくのが新鮮。収束も難し

くて解き応えがありました。

詰上がりも面白いですね。

☆交換を避けるため自玉に紐

を付ける詰上りは、慣れな

いと難しいかもしれません。

全体の構成は左辺で成銀を

作って戻る明快な一往復で

すが、送り機構は普通詰将

棋を始め他のルールでも類

例を探するのが困難。極めて

独創的で斬新な趣向作です。

【総評等】

神谷薫—Messigaryは「詰バラ

では初めてのルール」との

ことですが、詰バラ以外で

フェアリーの発表の場所が

他にあるということではし

うか。

☆Web Fairy Paradise という

フェアリー専門誌がネット

上で刊行されています。ぜ

ひび—読ください。(http://

/www.dokidoki.ne.jp/home

2/takaji/wfp.html)

【解答成績】(太字5名当選)

【全題】須川卓二、小倉杏、

駒井信久【5題】今川健一、

増田智彬【4題】市村道生、

神谷薫、花井秀隆

【3題】志賀友哉、流

【2題】原雅彦、和田裕之

【1題】天津包子、栗保友

【0題・コメントのみ】

武田静山、市原誠、岡本研、

佐藤司、塚崎彰仁、Sub